

ふむふむ

2026年 10月

茨城学習センターだより 第89号

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

もくじ

巻頭言	1
学位記授与式	2
学習奨励賞・名誉学生表彰	3
入学者の集い	4
茨城学友同窓会・OC学園祭のお知らせ	5
テレビ出演・全国大会出場報告	6～7
面接授業開講科目	8
ライブラリー講演会	9
事務室からのお知らせ	10～11
スケジュール	12



環境にやさしい植物病害防除について 考えてみませんか

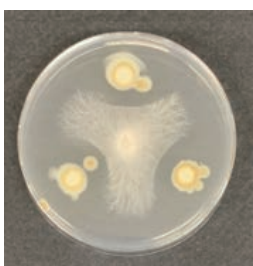
茨城学習センター客員教授／茨城大学農学部教授

中島 雅己

私の専門である植物病理学は農学の一部門であり、植物の病気を扱う学問分野です。植物病理学は、農作物などの有用植物に発生する病気の原因を明らかにする植物病原微生物学、病気の発生条件や伝染方法を解明する発生生態学および疫学、病原微生物の病原性と宿主植物との相互作用を解明する感染生理学から成り立っており、その使命は植物病害に対して防除技術確立することです。これまでに様々な防除法が開発・利用されてきていますが、中でも農薬による化学的防除法は世界中で利用され、農作業の省力化と生産性の向上に大きく貢献しています。しかしながら、農薬の使用増加に伴って生じる環境破壊や生態系の攪乱、食の安全、薬剤耐性菌の出現などの問題から、農薬への依存度を軽減する努力が求められています。



令和3年には農林水産省において、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」が策定されました。この戦略では、2050年を目標年次として複数の評価指標が設定されており、化学農薬については、環境負荷を軽減するためにスマート農業技術の活用やリスクの高い農薬から低い農薬への転換、化学農薬のみに依存しない総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加えて、安全性の高い新規農薬等の開発により、化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減させることを目指すとしています。このように生態系との調和を保った持続的な防除技術の開発が進められるなか、バイオコントロール(生物防除)に対する期待が高まっています。バイオコントロールとは、化学農薬や物理的手段ではなく生き物である微生物などをうまく利用して病害虫の発生を抑えようという技術です。私たちの研究室でも新たな微生物製剤の開発を目指して、農作物の根圏に定着することで土壌病害から農作物を護る微生物の探索に取り組んでいます。



本年度の面接授業「植物病理学入門」では、身近な野菜や果物に発生する病気とその防除について知識を深めていただきたいと思います。

ご卒業 おめでとうございます

9月27日(日)、2026年度第1学期卒業生に対する「学位記授与式」が、茨城学習センターにおいて挙行されました。学位記授与、鈴木義人所長の式辞、澁谷浩一客員教授、立原やい子学友同窓会会長の祝辞に続き、学位記授与者代表の加藤由佳様から謝辞が述べられ、26名の学部生と1名の大学院生が卒業・修了となりました。

ご卒業・修了に至るまでのご努力と成果に敬意を表し、新たな歩みを進められますことを、心よりお祝い申し上げます。皆様のますますのご発展とご活躍をお祈りいたします。



学部 合計 26人

生活と福祉コース	3	心理と教育コース	9
社会と産業コース	6	人間と文化コース	3
情報コース	2	自然と環境コース	3

大学院 合計 1人

情報学プログラム 1

謝辞



本日は、私たち卒業生のために、学位記授与式を開催していただき、誠にありがとうございます。

私は高校を卒業してすぐに就職をし、これまで日々仕事をしていく中で、専門的な知識が必要だと感じる場面が数多くありましたので、学位取得の一つの目標として放送大学に入学しました。放送大学では、これまであまり興味を持っていなかった分野についても学ぶ機会があり、自分の知らない分野を学ぶことで新しい知識を得られたり、また、得た知識が実際の仕事や社会生活の中で役立つ場面もあり、学ぶことの大切さを改めて実感しました。本日の卒業は、一つの区切りとなりますが、これからも主体的に学ぶ姿勢を忘れず、新しいことに挑戦していきたいと思います。

これまでご指導、ご支援くださいました先生方、職員の皆様、そして、学業と仕事を両立するために支えてくれた家族に、心より感謝申し上げます。最後に放送大学の今後ますますの発展と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

卒業生代表 加藤 由佳（全科履修生 人間と文化コース 卒業）

修了生メッセージ

放送大学での学びは、私にとってかけがえのない時間となりました。多様な経験や考え方をもつ方々との出会いから、多くの気づきや刺激をいただきました。また、丁寧にご指導くださった先生方、励まし合いながら学んだ仲間の皆様に心より感謝申し上げます。学習と仕事や家庭との両立は大変なこともありましたが、一歩ずつ積み重ねることで成長を実感することができました。在学生の皆さんも、ご自身のペースで学びを楽しみながら、充実した時間を過ごされることを願っています。

藤原 晴佳（修士全科生 情報学プログラム 修了）

卒業生メッセージ

一度は諦めた学士の学位取得、そして経済・経営についてより深く学びたく、この放送大学に編入学しました。時間の融通が利く環境に加えて、他分野へ気軽に触れられることで、物事の捉え方が豊かになったように思います。また、並行して勉強していた資格の取得、新卒として仕事をいただくこともできました。

皆さんも様々な理由や事情があると思いますが、それぞれの目標に向かって頑張ってください！一卒業生として応援しています！

関 望雲（全科履修生 社会と産業コース 卒業）

放送大学 名誉学生表彰

9月27日(日)、茨城学習センターにて名誉学生の表彰式が行われました。本学では、教養学部全コースを修了した全科履修生の方で、人物、学習態度が良好である方に対して、「放送大学名誉学生」の称号をお贈りし、表彰状および副賞の授与を行っております。

2026年度第1学期において、茨城学習センターでは、市毛修様が全6コースを終えられ、名誉学生の称号を付与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。



名誉学生をいただいた 感謝の思い

市毛 修

この度は、放送大学の名誉学生の称号をいただくことになり感謝申し上げます。

私が放送大学へ入学した動機は、長年勤めていた会社の定年退職を機に生涯現役を目指して進化する時代に乗遅れないように、色々な分野のことを学べる放送大学に入学しました。2005年入学から6コースの卒業まで約20年の歳月がかりましたが、コースの中では幾度も再試験を受けようやく終了した科目もありました。6コースは終了しましたが、「終わりが始まり」の言葉に習い一生涯学びを続けたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

産業と技術専攻(社会と産業コースに読み替え)
自然と環境コース、情報コース、生活と福祉コース、
心理と教育コース、人間と文化コース 卒業

受賞者メッセージ



神峰賞

樋口 敏幸

社会と産業コース、情報コース、
心理と教育コース 卒業

社労士の実務を進める中で、労働法や社会保険の理論的背景をより深く理解する必要性を感じ、社会と産業コースから学習を始めました。その後、生成AIなど急速に変わる実務環境に対応するため情報コースへ。さらに教育現場のICT化動向への関心から心理と教育コースへと、必要に応じて学びを広げていきました。仕事と学びを両立させながら目標としていた神峰賞を受賞し、放送大学の柔軟性だからこそ実現できたことと実感しています。来年の卒業・修了祝賀パーティーが楽しみです。

9月27日(日)、茨城学習センターにて学習奨励賞の表彰式が行われました。

表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方を対象に、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、茨城の山々の標高にちなみ、「八溝賞」「筑波賞」「神峰賞」の愛称名を付しています。

この度、茨城学習センターでは、2026年度第1学期卒業生の中から、樋口敏幸様が神峰賞を受賞されました。これからますますご活躍されることを祈念いたします。

学習奨励賞表彰

ご入学おめでとうございます

10月4日(日)、茨城学習センターにて「入学者の集い」が執り行われました。鈴木義人所長の式辞に続き、富樫ひとみ客員教授、飯島孝夫学友同窓会副会長の来賓祝辞、山口由莉様より新入生代表挨拶がありました。式典終了後は、学友同窓会による「歓迎茶話会」が和やかな雰囲気のもと開催されました。新たな環境での挑戦や学びを通じて、学生生活が一層充実したものになることを心から願っております。



本日は、私たち新入生のために、このような会を開いていただき、ありがとうございます。

私は以前の大学で理学を学んでいました。大学の授業と並行して、NPOの活動にも力を入れていました。そのNPOは、大学生が主体となって、他の大学生にインターンシップの機会を提供するという活動で、私もその活動に参加できることを誇りに思っていました。

しかし、活動が充実する一方で、次第に大学の授業についていくことが難しくなっていました。ふと立ち止まったとき、自分が大学で何をしたいのか、大学にいる意味は何なのかが分からなくなり、途方に暮れました。

そんなとき、放送大学の存在を知りました。思い切って茨城学習センターへ相談に伺うと、職員の方が優しく私の話を聞いてくださり、「まだまだやり直せるよ」と背中を押してくださいました。その言葉は、私に一筋の光を与えてくれました。そして、「ここでもう一度、自分と向き合おう」と思い、放送大学への編入学を決めました。

このように、私は最初の大学生活を経て、もう一度新たな学びに挑戦することになりました。放送大学で第二の大学生活を始められることを、大変うれしく思っています。

私は、とあるきっかけで歴史分野に興味を持ったことから、人間と文化コースで学ぶことを決意しました。これまでとは異なる分野への挑戦となりますが、今は、これから未知の世界に触れられることをとても楽しみにしています。

私たち新入生は今、さまざまな思いを胸に、今日という日を迎えています。入学のきっかけや目標はそれぞれ違っても、「学びたい」という気持ちは、きっと私たちに共通するものだと思います。

これから先、学ぶ中で困難に直面することもあるかもしれませんが、しかし、ともに学ぶ仲間がいることを心の支えとして、それぞれの目標に向かって歩んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、先生方や職員の皆様、そして、ともに学ぶ学友の皆様とのご縁に感謝し、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

新入生代表 山口 由莉
(全科履修生 人間と文化コース)

茨城学友同窓会

茨城学習センター学友の皆様、私は茨城学友同窓会会長の立原やい子と申します。2学期が始まり、皆様意欲的に学習を進めておられることと推察申し上げます。私は選科履修生として、今学期も1科目を選びました。あと面接授業を1つ取りたいなと思っているところです。

さて皆様の中には、すでに茨城学友同窓会会員という方がおられると思いますが、卒業していなくても入会ができますので、ぜひご検討ください。現在の会員数は約90名です。最近の同窓会役員会で、会員になるメリットは何かという議論をし、現在の会員は多くの得意分野を持っているので、それを生かしてはと考える、7月に「AI活用ワークショップ」を開催しました（無料）。また、陶芸家同窓生による「陶芸教室」も人気です。さらに学友同窓会では、20年にわたり国内・外宿泊研修旅行を続けており、現在のテーマは「日本の世界遺産を訪ねる」です。今年は「熊野三山・熊野古道」を訪ねます。いろいろな活動で人とのつながりができ、学生生活が豊かになるかもしれません。お待ちしております。



2/7(日)開催!

オープンキャンパス 学園祭2026

在学生や放送大学にご興味のある皆さま大歓迎! 茨城学友同窓会やサークルのメンバーを中心に、学びの魅力と楽しいイベントがギュッと詰まった「オープンキャンパス・学園祭2026」を開催いたします。美味しいコーヒーやマルシェに、ワクワクのアトラクション、学生発表や特別講演会まで! 笑顔あふれる1日をお届けします。



お友達やご家族とご一緒に、ぜひ遊びに来てください。皆さまのお越しを楽しみにお待ちしております!

●日時: 2027年2月7日(日)

●場所: 放送大学 茨城学習センター

対象 / 在学生・お友達やご家族さま・放送大学にご興味のある皆さま





NHK
ボーっと生きてんじゃ
ねーよ！
でおなじみの

チコちゃんに
叱られる！

鈴木義人所長
が登場！

テレビ
出演報告

2026年7月17日(金)に放送されたNHKの人気番組『チコちゃんに叱られる！』に、茨城大学名誉教授である、放送大学茨城学習センターの鈴木義人所長が出演されました。身近な言葉の裏に隠された植物と昆虫の不思議な生態について、鈴木所長が専門家の視点から分かりやすく解説。スタジオの面々を「なるほど！」と大いに唸らせた、見どころたっぷりの放送の様子を紹介します！

チコちゃんからの疑問

「ひよんなことから」の
「ひよん」ってなに？

誰もが当たり前のように使っているこの言葉。その語源の歴史を紐解くと、実は『ひよんの実』という植物の組織にたどり着きます。



この中に種が入っているんですか？

虫こぶの不思議な仕組み
について明快に解説する
鈴木義人所長

アブラムシが作った自分の
「住まい＆食料」である頑丈な虫こぶ



今回、その謎を解き明かす鍵として画面に登場したのが鈴木義人所長です。鈴木所長の専門分野は天然物化学。生物が示す生命現象を化学の視点から理解しようとする学問です。番組では、イスノキという植物にアブラムシが寄生してできる虫こぶの仕組みについて分かりやすく解説されました。

虫が植物をコントロールする!?
驚きの生命科学

「ひよんなことから」の
語源となった「ひよんの実」

アブラムシの幼虫は植物の成長ホルモンを分泌することで、イスノキの葉や芽に異常な細胞分裂を起こさせ、自分の「住まい兼食料」である頑丈な虫こぶ(虫こぶ)を作り出すのだそうです。秋になり、成長した虫たちがこのこぶから飛び立った後に残る「中が空洞になった抜け殻」こそが、語源となった『ひよんの実』の正体です。一見すると植物の実のように見えるものが、実は「虫が植物のプログラムを操作して作らせたシェルター」であるという驚きの事実、スタジオからも感嘆の声が上がっていました。



この空洞は、古くから子供たちが「ひよんの笛」として吹いて遊んだと言われており、息を吹き込むと綺麗な音が鳴ることで知られています。番組内でひよんの実を口元に当てて息を吹き込む鈴木所長。しかし音は鳴らず、テレビの前で思わず微笑んでしまった方も多かったのではないのでしょうか。ですがここからが鈴木所長の真骨頂です。VTRの締めくくり、カメラの前で再びひよんの実を構え、今度はしっかりと息を吹き込むと、見事な音色が響きました。最初の一吹きでのハプニングを、見事な「二度目の正直」で挽回された鈴木所長。その見事なタイミングと結末に、スタジオ出演者の岡村隆史さん、カンニング竹山さん、ホラン千秋さんからも大きな拍手と温かい笑顔が沸き起こりました。

難解に思える植物生理化学の世界を、インタビューや微笑ましい実演を通じて、親しみやすくお茶の間に届けてくださった鈴木所長。高度な知見だけでなく、温かみのあるお人柄とともに全国へ紹介されたことは、私たちにとっても大変誇らしく喜ばしい瞬間でした。

素晴らしいお話をありがとうございました！

★ ★ 出演を終えた鈴木所長に撮影の裏話を伺いました！

鈴木義人所長インタビュー



私は虫こぶを作る昆虫にオーキシンやサイトカイニンという植物ホルモン類が高濃度に含まれていることを見出して以来、それらの植物ホルモンを昆虫がどのように産生しているのか、そのメカニズムを研究していました。今回、最初は虫こぶに関する内容の監修を依頼され、メールで情報提供をしていたのですが、「ひよんの実」の虫こぶが茨城大学農学部そばにあることを伝えたところ、現場でロケを行うことになりました。まさに「ひよんなこと」からテレビに出演することになったわけです。



事前に台本はいただいていたのですが、実際にはカメラを回したまま、台本になかったディレクターからの質問にも答えていたら、いつのまにか撮影は終わっていました。「音って鳴らせますか？」というのも、その場で突然言われたことです。虫こぶの孔から虫の死骸が見えていたのでこわごわ吹いたところ、うまく音が出ませんでしたが、そのあと覚悟を決めて勢いよく吹いたら、意外にも良い音が出ました。幸い虫の死骸が飛び出してくることはありませんでした。

テレビ番組の録画DVDは、茨城学習センターの視聴学習・図書室に置いてあります。
室内にてご自由に視聴いただけますので、是非ご覧ください！

祝 全国大会出場！ 清水秀一 職員

剣道競技 ねんりんピック茨城県代表

11月7日(土)から9日(月)にかけて埼玉県で開催される
「ねんりんピック(第38回全国健康福祉祭)」の剣道交流大会に
当センター職員の清水秀一さんが茨城県代表として出場することが決定しました！

県予選大会では、一步も引かない緊迫した展開のなか、諦めない強い執念で見事代表者決定戦を制し、全国大会への切符を勝ち取りました。まさに日頃の鍛錬が実を結んだ素晴らしい成果です。日頃は大学職員として本学の運営・学生支援を力強く支える傍ら、道場では愚直に竹刀を振り重ね、技と心を磨き続けてきた清水さん。不屈の精神で掴み取った今回の全国大会出場は、私たち教職員・学生一同にとっても大きな励みであり、勇気を与えてくれる素晴らしいニュースです。

「本大会では、県外の方々との交流を深めるとともに、茨城県代表の名に恥じない試合をしたいと思います。また、自分が活躍することで放送大学を多くの方に知っていただける機会になるのではと思っています。精一杯頑張ってみます。応援のほどよろしくお願いいたします。」と語る清水さん。

11月の大舞台へ向けて、茨城学習センター全体で温かい声援を送りましょう！
清水さんのご健闘とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。



ねんりんピックとは

60歳以上の方を中心とするスポーツと文化の祭典。厚生労働省等が主催しスポーツ庁が共催する、観客含め延べ約60万人の参加が見込まれる一大イベント。

2026年度 第2学期茨城学習センター面接授業開講科目



面接授業は、学習センターなどで他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。空席のある科目については、開設する学習センターで追加登録することができます。

10月16日(金)15時以降、システム WAKABA で空席状況を確認できます。

お支払い方法は、キャッシュレス決済となります。

2026年4月の本格導入から、事務手数料 200円(1科目につき)が必要となりました。

詳しくは
こちら



科目区分	科目コード	開講日	担当講師名	定員	追加登録期限
〔専門：心理と教育〕 人間の本質に基づく教育の可能性	2690420	10月17日(土) 1～4時限 10月24日(土) 1～4時限	生越 達 茨城大学 名誉教授	60名	—
〔専門：生活と福祉〕 高齢期の社会関係	2690390	10月17日(土) 1～4時限 10月18日(日) 1～4時限	富樫 ひとみ 茨城キリスト教大学 教授	60名	—
〔基盤：外国語〕 多読多聴で英語を楽しもう2	2690365	10月17日(土) 1～4時限 10月24日(土) 1～4時限	上田 敦子 茨城大学 教授	24名	—
〔専門：自然と環境〕 天文学と太陽	2690497	10月31日(土) 1～4時限 11月1日(日) 1～4時限	野澤 恵 茨城大学 教授	60名	10月24日(土)
〔専門：人間と文化〕 民衆交流の江戸時代	2690462	10月31日(土) 1～4時限 11月1日(日) 1～4時限	添田 仁 茨城大学 教授	60名	10月24日(土)
〔基盤：外国語〕 楽しく学ぶ中国語と中国文化	2690373	10月31日(土) 1～4時限 11月7日(土) 1～4時限	西野 由希子 茨城大学 教授	24名	10月24日(土)
〔専門：心理と教育〕 心理検査法基礎実習	2689189	11月8日(日) 1～4時限 11月15日(日) 1～4時限	水口 進 元常磐大学 教授	30名	11月1日(日)
〔専門：社会と産業〕 政治学—地方創生の取り組み	2690438	11月14日(土) 1～4時限 11月15日(日) 1～4時限	馬渡 剛 茨城大学 教授	60名	11月7日(土)
〔専門：生活と福祉〕 リスクコミュニケーション論	2690403	11月25日(水) 1～4時限 11月26日(木) 1～4時限	奈良 由美子 放送大学 教授	60名	11月18日(水)
〔専門：生活と福祉〕 持続可能な食生活	2690411	11月28日(土) 1～4時限 11月29日(日) 1～4時限	石島 恵美子 茨城大学 教授	60名	11月22日(日)
〔専門：社会と産業〕 茨城の観光と地域活性化	2690446	11月28日(土) 1～4時限 11月29日(日) 1～4時限	小原 規宏 茨城大学 准教授	24名	11月22日(日)
〔専門：心理と教育〕 心理学実験3	2689162	12月5日(土) 1～4時限 12月6日(日) 1～4時限	三輪 壽二 茨城大学 教授	30名	11月28日(土)
〔専門：自然と環境〕 解析学入門—無限級数に触れる	2690500	12月5日(土) 1～4時限 12月6日(日) 1～4時限	下村 勝孝 茨城大学 教授	60名	11月28日(土)
〔専門：人間と文化〕 茨城の重要遺跡と野外博物館	2690470	12月12日(土) 1～4時限 12月19日(土) 1～4時限	塩谷 修 元川村学園女子大学 教授	60名	12月5日(土)
〔専門：自然と環境〕 植物病理学入門	2690519	12月12日(土) 1～4時限 12月19日(土) 1～4時限	中島 雅己 茨城大学 教授	60名	12月5日(土)
〔導入：人間と文化〕 絵画表現入門	2690381	12月12日(土) 1～4時限 12月13日(日) 1～4時限	片口 直樹 茨城大学 教授	20名	12月5日(土)
〔専門：社会と産業〕 人権と子どもの教育	2690454	1月9日(土) 1～4時限 1月10日(日) 1～4時限	古屋 等 茨城大学 教授	60名	1月5日(火)
〔専門：人間と文化〕 近世ユーラシア交流史	2690489	1月9日(土) 1～4時限 1月10日(日) 1～4時限	澁谷 浩一 茨城大学 教授	60名	1月5日(火)

●面接授業シラバス(面接授業時間割表ブロック版)のペーパーレス化について●

これまで学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、2026年度第2学期からは、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。面接授業シラバスなどの詳細は、ウェブサイトでご覧ください。

放送大学

茨城県立図書館

ライブラリー 講演会 × 知の探究 セミナー

放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新の話題を聞くことができるまたとない機会です。ぜひ御参加ください。

事前申込み不要・参加費無料

- ◆ 会場
茨城県立図書館 視聴覚ホール
- ◆ 時間
14:00 ~ 16:00

2026
10/10
SAT

楽譜を読み 解釈し、表現するとは — 声楽曲を分析し、音楽表現を考える —

講師

たに がわ よし ゆき
谷川 佳幸

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城大学教育学部教授



速度、強弱、表情記号などに沿って楽譜を正確に演奏することは大切です。ですが単に音量に大小の差をつけたり、スタッカートが書いてあるから音を短くすればよいというようなものではなく、作曲家の指示した記号は何を表現するために付けられたのか、なぜその音程やリズムなのかを読み解き、それを聴衆に届けるのが演奏。歌詞の付いた音楽で譜読みの基礎から学び、演技も含めて、より表情豊かな演奏をする方法について考えていきます。

2027
2/13
SAT

クレムリンと故宮 首都の世界遺産から考える ユーラシア東西の大国の歴史

講師

しぶ や こう いち
澁谷 浩一

放送大学茨城学習センター客員教授
茨城大学人文社会科学部教授



ユーラシア東西の大国としてその関係に常に注目が集まるロシアと中国。その首都の中心部には、かつての皇帝の居城であったクレムリンと故宮（紫禁城）が現存しています。世界遺産として多くの観光客を集めるこの場所には、現在の権力者がいまなお陣取っていることにお気づきでしょうか。世界を見渡してもこのような例は他に見当たりません。本講演ではこの2つの都の歴史をモンゴル帝国の時代まで遡り、その浅からぬ因縁を紐解きます。

2027
3/13
SAT

地質年代チバニアン — 提案から承認まで —

講師

おか だ まこと
岡田 誠

茨城大学基礎自然科学野教授



2020年1月、中期更新世（約77.4万年前～12.9万年前）という地質年代区分に対して千葉県市原市の地層が基準地層として選ばれ、日本の地名にちなんだ初の地質年代「チバニアン期」が承認されました。本講演では、チバニアンの提案から承認までの過程に加え、この快挙をもたらした房総半島の地層が持つ類い稀な特徴についても紹介します。

事務室からの お知らせ

『学生生活の栞』には、放送大学で学ぶにあたっての方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法や課外活動等についての詳細が記載されています。学生生活を送るうえで疑問点が生じた時には、随時ご参照ください。



※2026年度から『学生生活の栞』は冊子での配布を終了し、電子形式(PDF)での提供となりました。

QRコード



または

「システムWAKABA」
→「学内リンク」
→「学生生活の栞」
からご覧ください

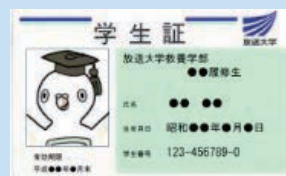


学生証の交付について

『学生生活の栞』 学 部 p.23 ~
大学院 p.35 ~

学生証の交付は、茨城学習センターの2階事務室窓口または郵送で行っています。

- 10月に新規入学・再入学・継続入学された方
→ 入学許可書をご持参ください
- 有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方
→ 期限切れの学生証をご持参ください
(有効期限は 全科履修生: 2年間、選科履修生: 1年間、科目履修生: 半年間 です)



顔写真が未登録の場合は学生証を発行することができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」から写真を登録するか、「学生生活の栞」巻末の「写真票」(学部: 様式 11、大学院: 様式 10)を本部学生課出願登録係(修士全生・博士全生は本部教務課大学院研究指導係)まで提出してください。

郵送により学生証交付を希望される方は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください

- ① 郵送による学生証交付願
※茨城学習センター HP からダウンロードできます ▶ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki>
- ② 新入生→入学許可書または顔写真のある身分証明書の写し
在学生→有効期限の切れた学生証
- ③ 返信用封筒(宛名記名、460円分の切手貼付) ※簡易書留で返送します。

証明書の発行について

『学生生活の栞』 学 部 p.103 ~
大学院 p.103 ~

証明書の発行は、茨城学習センターの2階事務室窓口または郵送で行っています。
「諸証明書交付願」に必要事項を記入のうえ、窓口のキャッシュレス決済端末で手数料(1通につき200円)を支払いお申し込みください。

郵送により証明書発行を希望される方は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください

- ① 諸証明書交付願
※『学生生活の栞』(电子版)巻末またはシステムWAKABAからダウンロードできます。
- ② 返信用封筒(長形3号封筒 120mm×235mmに宛名明記、切手を貼付したもの)
※返信用封筒に貼付する切手は、2通までは110円、それ以上は定形外郵便となります。

上記書類到着後、手数料支払いの決済用 URL を交付願記載のメールアドレスへ送信します。メールに記載されている期限日までに手数料を納入してください。納入確認後に証明書を作成し、送付いたします。

※証明書の種類によって、発行に時間が掛かるものがあります。発行日数を考慮し、余裕を持って申請してください。
※現在教員免許状を持っている方で、上位または他教科等の教員免許状を申請する場合は、『教員免許状申請用証明書』と記入されている「諸証明書交付願」(学部: 様式 10、大学院: 様式 9)で申請してください。
(「諸証明書交付願」の様式は2種類ありますので、間違いのないよう注意してください)

通信指導の提出について

『学生生活の栞』学 部 p.69 ~
大学院 p.74 ~

放送授業が行われる科目および一部のオンライン授業科目には通信指導があります。

通信指導は、web通信指導による提出（郵送提出科目を除く）ですので、問題冊子の送付はありません。

自宅等からインターネットを通じてWeb通信指導システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。（評価対象となる解答は1回目の提出のみ）

各科目の提出方法については「授業科目案内」（教養学部 p.12）に記載しておりますので、ご確認ください。

また、通信指導問題はシステムWAKABA内「授業サポート → 授業共有ファイル」にて、10月上旬にアップロードされますのでご確認ください。

なお、自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web通信指導による提出が困難な場合は、10月15日（木）までに単位認定試験の受験会場を学習センターにしている場合に限り、「通信指導問題冊子・マークシート・返信用封筒」を送付します（印刷教材とは別に送付）。

【Webによる提出期間】 11月5日（木）10:00 ~ 11月25日（水）17:00 まで

【郵送による提出期間】 11月11日（水）~ 11月25日（水） 必着

※郵送による提出は、郵送提出科目・Web通信指導による提出が困難な場合に限りです。

〈通信指導添削結果・受験票〉

※通信指導の解答・解説は、Web通信指導上で確認することができます（郵送されません）。

「択一式」の解答・解説・・・解答提出後すぐに表示

「記述式」の解答・解説・・・当該科目の担当教員が添削指導を行い表示（12月末~1月上旬）

郵送提出科目は、期限までに解答を提出した方のみ「自習型解答・解説」と「添削結果」が郵送されます。

※通信指導の可否結果、単位認定試験の受験資格の確認について

12月下旬にシステムWAKABA「教務情報 → 単位認定試験時間割照会（学生用）」で確認できます。

未提出または不合格の場合は、単位認定試験を受験できません。

◆単位認定試験受験場所が「全て自宅受験」の方には「単位認定試験通知（受験票）」は郵送されません。
ただし、「全て学習センター受験」の方と、「記述・併用式のみ学習センター受験」で記述・併用科目を受験予定の方には、紙の受験票が郵送されます。

単位認定試験について

『学生生活の栞』学 部 p.74 ~
大学院 p.79 ~

単位認定試験は、Web受験方式により実施します。（郵送受験方式の科目を除く）

【単位認定試験日程】

Web試験：択一式科目 2027年1月17日（日）9:00 ~ 1月25日（月）17:00

：記述式・併用式科目 2027年1月17日（日）9:00 ~ 1月21日（木）17:00

郵送試験：すべての出題形式 2027年1月17日（日）~ 1月21日（木）必着

※Web 単位認定試験体験版を公開しています。試験開始前までに、必ず体験版を操作しておいて下さい。

【アクセス方法】 システムWAKABA (<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>)に ログインし、
『Web 単位認定試験体験版』をご利用ください。

自宅でのWeb受験が困難な方は、学習センターで受験することができます。学習センターでの受験を希望する場合は、次により受験場所の変更手続きをしてください。

【学習センター受験 申請方法】

- システムWAKABAで変更手続き
「教務情報 → 変更・異動手続 → 単位認定試験受験場所変更」

- 本部へ郵送提出

単位認定試験受験場所変更願（学部：学生生活の栞巻末様式15、大学院：様式14）

申請期間

・第2学期から変更する場合 2026年10月1日（木）~ 11月25日（水）

・2027年度第1学期の科目登録から変更する場合 2027年1月26日（火）~ 2月6日（土）

10月～3月 第2学期 スケジュール

- 閉所日（月曜日・祝日・年末年始・臨時閉所日）
- 面接授業開催日
- Web通信指導提出期間（11/5～25まで）
- 単位認定試験期間（1/17～25まで）※記述・併用・郵送は21まで
- ライブラリー講演会（会場：茨城県立図書館）

10月 October						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月 November						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月 December						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月 January						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

2月 February						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月 March						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

予告！ 茨城学習センター閉所日2日制の導入について

放送大学本部においては「原則としてすべての学習センターで閉所日2日制を実施する」との全体方針が定められ、2025年4月以降順次導入が進められております。この全体方針に基づき、茨城学習センターでは、2027（令和9）年4月から閉所日を下記のとおり変更し、**閉所日2日制**を導入することになりました。

【移行時期】 2027（令和9）年 4月より実施

【新閉所日】 従来の毎週月曜日に加え、以下も新たな閉所日とします。

4月～6月・10月～12月は、**火曜日**

7月～9月・1月～3月は、**日曜日**

※ただし火曜日や日曜日に祝日が重なった場合や行事等の関係で閉所日が変更になる場合があります。

～茨城学習センター機関誌「ふむふむ」は紙媒体での配布は終了しました～

2026年度第2学期から、茨城学習センター機関誌「ふむふむ」は、紙媒体での配布を終了し、ホームページ上で、電子形式(PDF)で提供させていただくことになりました。最新号やバックナンバーは、「茨城学習センターホームページ」この学習センターについて>機関誌紹介よりダウンロードできますのでご利用ください。

茨城学習センターの利用やお知らせについては、
ホームページに掲載しています。随時ご確認ください。

ホームページ URL ▶ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/> QRコードからも▼

センター 利用時間

- 事務室窓口 9:00～12:00 / 13:00～17:15
- 視聴学習・図書室 9:30～12:00 / 13:00～17:00

月曜日・祝日はお休みです

